

## 【ポイント】

### 内政

- 24日、当国下院は年金改革法案を可決。27日、当国上院も同法を可決。
- 当国厚生省は、4月時点でチクングニア熱の発症例31件及びデング熱の発症例20件の確認を発表。

### 外交

- 6日、メネンデス米上院外交委員長ら米国議員代表団が当国を訪問。ラカジェ・ポウ大統領との会談を実施。
- Jia Qian 中国国家食糧物資備蓄局副局長が当国を訪問。マツス農牧水産大臣との会談を実施。
- 12日、アルベルトーニ外務次官は、オンラインで第1回モンゴル・ウルグアイ政策協議を実施。
- 14日、アルベルトーニ外務次官を議長に第3回ベトナム・ウルグアイ合同委員会を実施。
- 18日、ブスティージョ外相は中国を訪問。韓正国務院副総理らと会談を実施。
- 18日、アンドウハル下院議長(与党国民党)は、趙楽際(Zhao Leji)中国全人代常務委員会委員長とビデオ会談を実施。
- 25日、アルベルトーニ外務次官は、当国を訪問したりディア・ペラルタ・コスタリカ二国間担当外務次官と第4回コスタリカ・ウルグアイ政策協議を実施。
- 27日、ヴォン・ディン・フエ・ベトナム国会議長が当地を訪問。アルヒモン副大統領及びアンドウハル下院議長らと会談を実施。
- 27日、大韓商工会議所会頭、及び SK グループ会長を務めるチェ・テウオン韓国特使が当地を訪問。ブスティージョ外相との会談を実施。

### 経済

- S&P グローバル・レーティング社は、ウルグアイの信用格付けを「BBB」から、安定した見通しを伴った「BBB+」に格上げし、過去最高の評価とした。
- 28日、当国フリーゾーン地区のソナ・アメリカにてバイオテクノロジー分野における中国大手企業 Artica Biotech 社のラボの開設式が行われた。

## 【本文】

### 1 内政

#### (1) 上下両院による年金改革法案の可決

24日、当国下院は、数か月間議論を続けてきた年金改革法案を可決した。昨年12月下旬に上院で可決された後に始まった同法案の下院での議論は、本年に入ってから長らく続けられてきた。今次下院での可決には法案内容の修正があったため、上院での再議論へと戻され、27日、再度上院での可決を得て、5月2日に同法が発布された。今次改革により、一部のセクターを除くものの、退職年齢が60歳から65歳に引き上げられ、移行期間が設けられる。また、共通年金制度の創設や退職時の基本給、退職者の復職、就職してから40歳になるまでの貯蓄に関するサブファンドの創設等の変更が組み込まれている。

## (2) チクングニア熱及びデング熱の確認

当国厚生省は、4月時点でチクングニア熱の発症例31件(内、輸入感染17件、国内感染14件)及びデング熱の輸入感染発症例20件を確認している旨発表。同省は、現段階では入院を必要とする重傷者は出ていないと報告している。また同省は、水たまりを避けるなどして感染防止に努めるよう呼びかけている。

## 2 外交

### (1) 米上院外交委員長等の当地訪問

6日、ラカジェ・ポウ大統領はブスティージョ外相及びロレーナ・ポンセ・デ・レオン大統領夫人とともに、当地を訪問したメネンデス米上院外交委員長(ニュージャージー州上院議員)、ティム・ケイン上院議員(ヴァージニア州)、ビル・ハガティ上院議員(テネシー州)及びトニー・カルデナス下院議員(カリフォルニア州)をコロニア県に所在する大統領別邸「Anchorena」で昼食会を開催。上院議員らの今次当地訪問の目的は、二国間関係及び経済状況に関して閣僚らと協議を行うこととともに、ラテンアメリカ地域における民主的価値の状況を評価し、西半球における安定と民主主義の模範としてのウルグアイの役割を強調することであり、ラカジェ・ポウ大統領及び米上院議員らは、貿易協定締結の進展を図ることを目的に会談を実施した。

### (2) Jia Qian 中国国家食糧物資備蓄局副局長の当地訪問

マツス農牧水産大臣は、穀物及びその他の製品の生産について調査のため当国を訪問した Jia Qian 中国国家食糧物資備蓄局副局長を迎え入れ、ブッフア農牧水産省次官及び在ウルグアイ中国大使館関係者とともに会談を実施。本会談は、マツス大臣率いる政府公式ミッションが中国衛生当局との協議のために5月に中国を訪問する際にも継続して行われる。また、マツス農牧水産大臣によると、今次 Jia Qian 副局長の訪問では、中国との貿易関係を強化及び改善する MOU の署名も行われた。

### (3) 第1回モンゴル・ウルグアイ政策協議

12日、アルベルトーニ外務次官を筆頭に、オンラインでの第1回モンゴル・ウルグアイ政策協議が開催された。同政策協議では、協力、農業、及び貿易等、二国間関係の深化のためのアジェンダにおけるテーマが扱われた。

### (4) 第3回ベトナム・ウルグアイ合同委員会

14日、当国外務省は、当国経済財務省、工業エネルギー鉱業省、農牧水産省と共に、ベトナムとの第3回ベトナム・ウルグアイ合同委員会を実施。同委員会ではアルベルトーニ外務次官が議長を務め、実務セッションでは、牛肉、羊肉、家きん肉、及び魚粉の認可、貿易の促進と拡大の可能性、市場アクセスの改善と投資に関連する技術協力を含む、様々な関心あるテーマが扱われた。

### (5) ブスティージョ外相の中国訪問

18日、中国を訪問したブスティージョ外相は、韓正國務院副総理との間で、外交関係樹立35周年を通じた二国間関係の深化について評価を行った。また、ブスティージョ外相は今次訪中期間中に、秦剛外交部長、王受文商務部副部長兼中国国際貿易代表、Ren Hongbin 中国国際貿易促進委員会(CCPIT)委員長、劉建超中国共産党中央対外連絡部部長、及び林松添中国人民対外友好協会(AAPCHE)会長との会談をそれぞれ実施。王受文商務部副部長兼中国国際貿易代表との会談では、投資と経済協力のための作業グループ設立にかかる覚書に署名を行った。

### (6) アンドゥハル下院議長と趙楽際中国全人代常務委員会委員長のビデオ会談

18日、アンドゥハル下院議長(与党国民党)は、オルモス下院副議長(野党拡大戦線: FA)及びペレス・ボナビータ下院議員(連立与党カビルド・アビエルト党)とともに趙楽際(Zaho Leji)中国全人代常務委員会委員長とのビデオ会談を実施。同会談では、国際政治及び二国間関係の様々なテーマに関する対話を行った。

#### (7) 第4回コスタリカ・ウルグアイ政策協議

25日、アルベルト・ニ外務次官は、当国を訪問したリディア・ペラルタ・コスタリカ二国間担当外務次官と第4回コスタリカ・ウルグアイ政策協議を実施。同協議では、貿易、投資、及び協力に関する二国間アジェンダの見直しを行った。また、両次官は刑事共助条約及び犯罪人引渡し条約の2つの二国間協定に署名を行った。

#### (8) ヴォン・ディン・フエ・ベトナム国会議長他の当国訪問

27日、アルヒモン副大統領（上院議長を兼ねる）及びアンドゥハル下院議長は、ラテンアメリカ訪問の枠組でウルグアイを訪問したヴォン・ディン・フエ・ベトナム国会議長を国会議事堂で迎え入れ、ベトナム・ウルグアイ両国間の重要事項に関する会談を行った。また、特別イベントホールにて外交関係樹立30周年を記念した切手の贈呈と、ベトナム国会及びウルグアイ上下両院の協力協定への署名が行われ、その後ウルグアイ・ベトナム友好議連が発足した。

#### (9) 米国からのヘリコプターの供与

27日、ガルシア国防大臣は、米国から供与されたヘリコプターがウルグアイ空軍に加わる旨を発表。ガルシア大臣によると、同ヘリコプターは本年下半期にウルグアイに到着後、PKO のコンゴ（民）ミッションに派遣され、現在コンゴ（民）にあるヘリコプターと入れ替えられる。

#### (10) チェ・テウオン韓国特使の当国訪問

27日、大韓商工会議所会頭、及び SK グループ会長を務めるチェ・テウオン韓国特使が当国を訪問。ブスティージョ外相とチェ・テウオン韓国特使の会談では、再生可能エネルギー、デジタル・イノベーション、及びバイオテクノロジーに関して意見交換が行われた。

### 3 経済

#### (1) S&P 社による当国格付評価

S&P グローバル・レーティング社は、ウルグアイの信用格付けを「BBB」から「BBB+」と格上げし、アウトルックを「安定的」として、過去最高の評価とした。同社は、ウルグアイの安定した見通しは、連続した経済成長と安定した財政実績が節度ある財政赤字と債務水準の安定化に寄与するとの期待を反映していると強調した。また同社は、様々な経済セクターへの投資が、2024年から2026年に平均で約2.5%の GDP 成長を支えるとの見通しである旨報告した。

#### (2) 中国企業 Artica Biotech 社バイオテクノロジーラボの開設

28日、当国フリーゾーン地区のソナ・アメリカにてバイオテクノロジー分野における中国大手企業 Artica Biotech 社のラボ開設式が行われ、デルガド大統領府長官、ブスティージョ外相、マツス農牧水産大臣、パガニーニ工業エネルギー鉱業大臣らが出席した。今次開設されたラボでは、培養、新型コロナウイルスの検査、ワクチン添加物等の原料生産が行われる予定。

#### (3) 2023年3月のインフレ率

国家統計院(INE)は、2023年3月のインフレ率を7.33%と発表。前年同月のインフレ率は9.38%であったため、インフレ率の高騰は減速し、消費者物価指数は6か月連続で上昇率は低減した。また、2023年第1四半期のインフレ率は3.5%となり、同数値においても前年同期のインフレ率4.42%に比べ、収縮傾向が見取れる。

#### 4 要人往来

##### (1) 往訪

- ・10日～18日:アルベレチェ経済財務大臣の米国訪問(世銀・IMF 会議出席)。
- ・11日～13日:ガルシア国防大臣のブラジル訪問(第13回 LAAD 防衛・セキュリティ展覧会出席)。
- ・12日～14日:マツス農牧水産大臣のチリ訪問(メタンガス削減を目的とした低排出ガス食品に関する第1回閣僚会議出席)。
- ・13日～22日:ブスティージョ外相の中国訪問(中国閣僚らとの二国間会談)。
- ・19日:アルベルトーニ外務次官のカーボベルデ訪問(第8回南大西洋平和協力地帯(ZOPACAS)閣僚会合出席)。
- ・19日～20日:ブビエル環境大臣のアルゼンチン訪問(第2回エスカス協定会議出席)。
- ・20日:アルベルトーニ外務次官のポルトガル訪問(アンドレ・ポルトガル外務・国際協力担当副大臣との会談及びリスボン大学基調講演)。
- ・27日～29日:ダ・シルベイラ教育文化大臣のアルゼンチン訪問(第47回ブエノスアイレス国際書籍展開会式出席)。
- ・22日～29日:モレイラ住宅土地整備大臣(当時)のポーランド訪問(第15回欧州経済コンGRESS2023出席)。

##### (2) 来訪

- ・6日:メネンデス米上院外交委員長らの当地訪問(ラカジェ・ポウ大統領との会談)。
- ・12日:Jia Qian 中国国家食糧物資備蓄局副局長の当地訪問(マツス農牧水産大臣との会談)。
- ・25日:リディア・ペラルタ・コスタリカ二国間担当外務次官の当地訪問(第4回コスタリカ・ウルグアイ政策協議)。
- ・27日:ヴォン・ディン・フエ・ベトナム国会議長他の当国訪問(アルヒモン副大統領(国会議長及び上院議長を兼ねる)及びアンドウハル下院議長との会談)。
- ・27日:チェ・テウオン韓国特使の当地訪問(ブスティージョ外相との会談)。